



2024年3月期第3四半期 決算概要について

日精樹脂工業株式会社
2024年2月

2024年3月期第3四半期 業績の概要

2024年3月期第3四半期 連結経営成績

単位:百万円 ()内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 純利益
2024年3月期 第3四半期	34,056 (△10.3%)	1,562 (△23.9%)	1,361 (△31.0%)	837 (△42.1%)	43.42円
2023年3月期 第3四半期	37,945 (9.7%)	2,054 (0.7%)	1,971 (△8.2%)	1,444 (△36.3%)	74.08円

売上

・原材料及び資源価格の高騰等を要因に、国内および海外での設備投資需要が低調であったことから、売上高は前年同四半期比10.3%減の340億5千6百万円となりました。

利益

・主力である射出成形機の需要が低下したこと等から営業利益は15億6千2百万円(前年同四半期比23.9%減)、この結果、経常利益は13億6千1百万円(同31.0%減)、四半期純利益は8億3千7百万円(同42.1%減)となった。

連結業績概要【前年同期比】

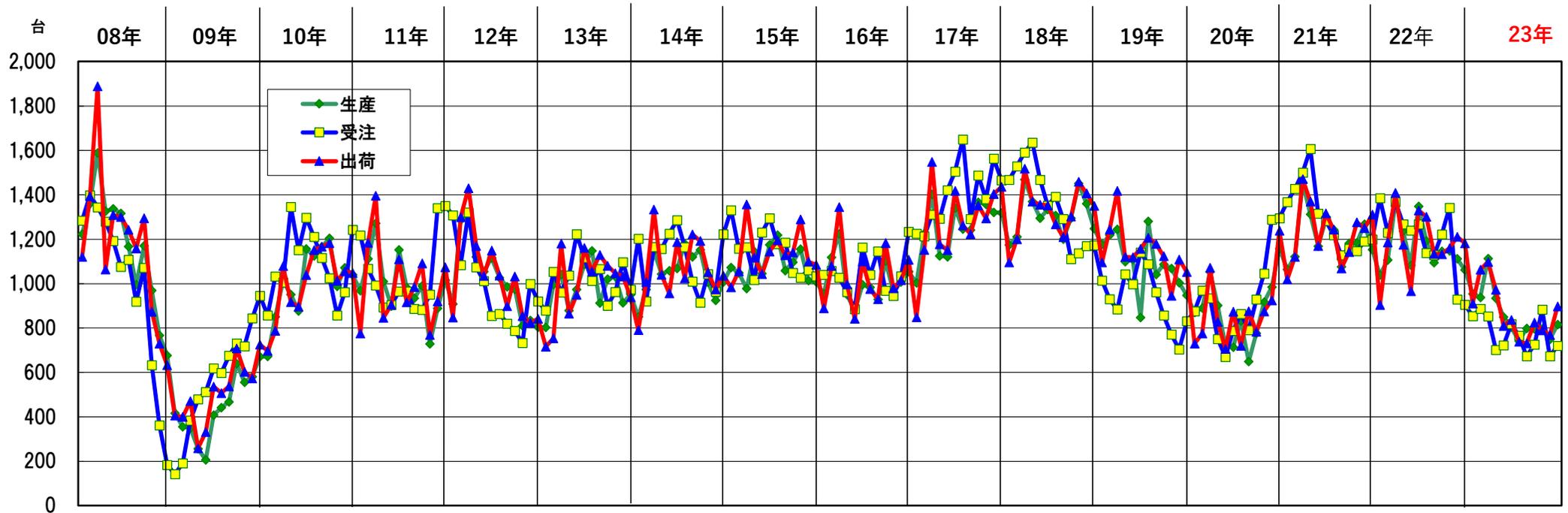
単位：百万円、比率%

	2023年3月期 第3四半期実績	2024年3月期 第3四半期実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	29,138	24,520	△4,618	△15.9
周辺機器	1,495	1,823	328	22.0
部品	5,779	6,277	498	8.6
金型・中古機	1,531	1,434	△97	△6.4
売上高合計	37,945	34,056	△3,889	△10.3
売上総利益	12,054	11,333	△721	△6.0
一般管理販売費	9,999	9,770	△229	△2.3
営業利益	2,054	1,562	△491	△23.9
経常利益	1,971	1,361	△610	△31.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,444	837	△607	△42.1

射出成形機業界の動向

射出成形機 受注/生産/出荷の推移 (全国 2008年からの推移)

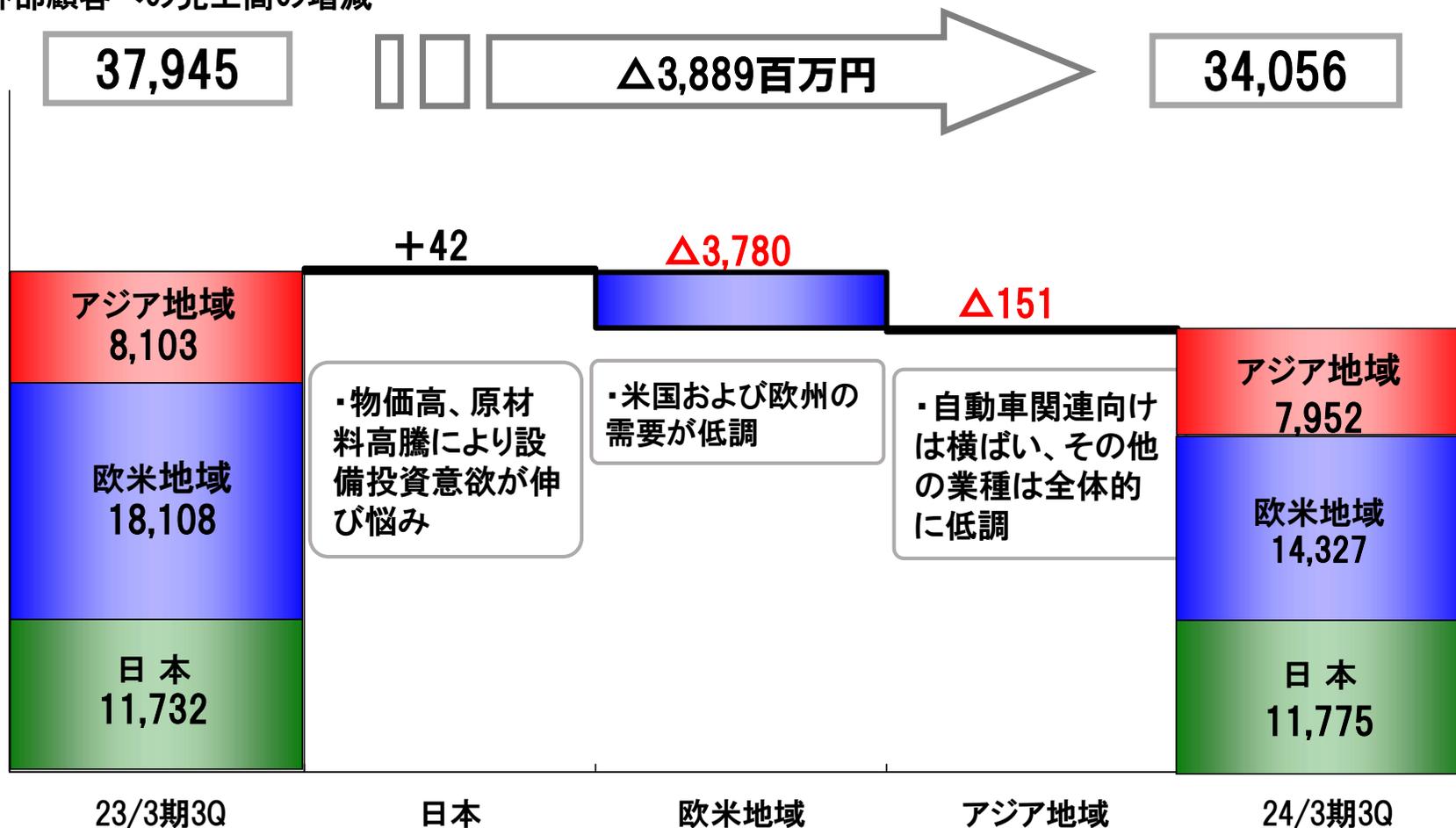
全国推移 (国内生産分のみ)



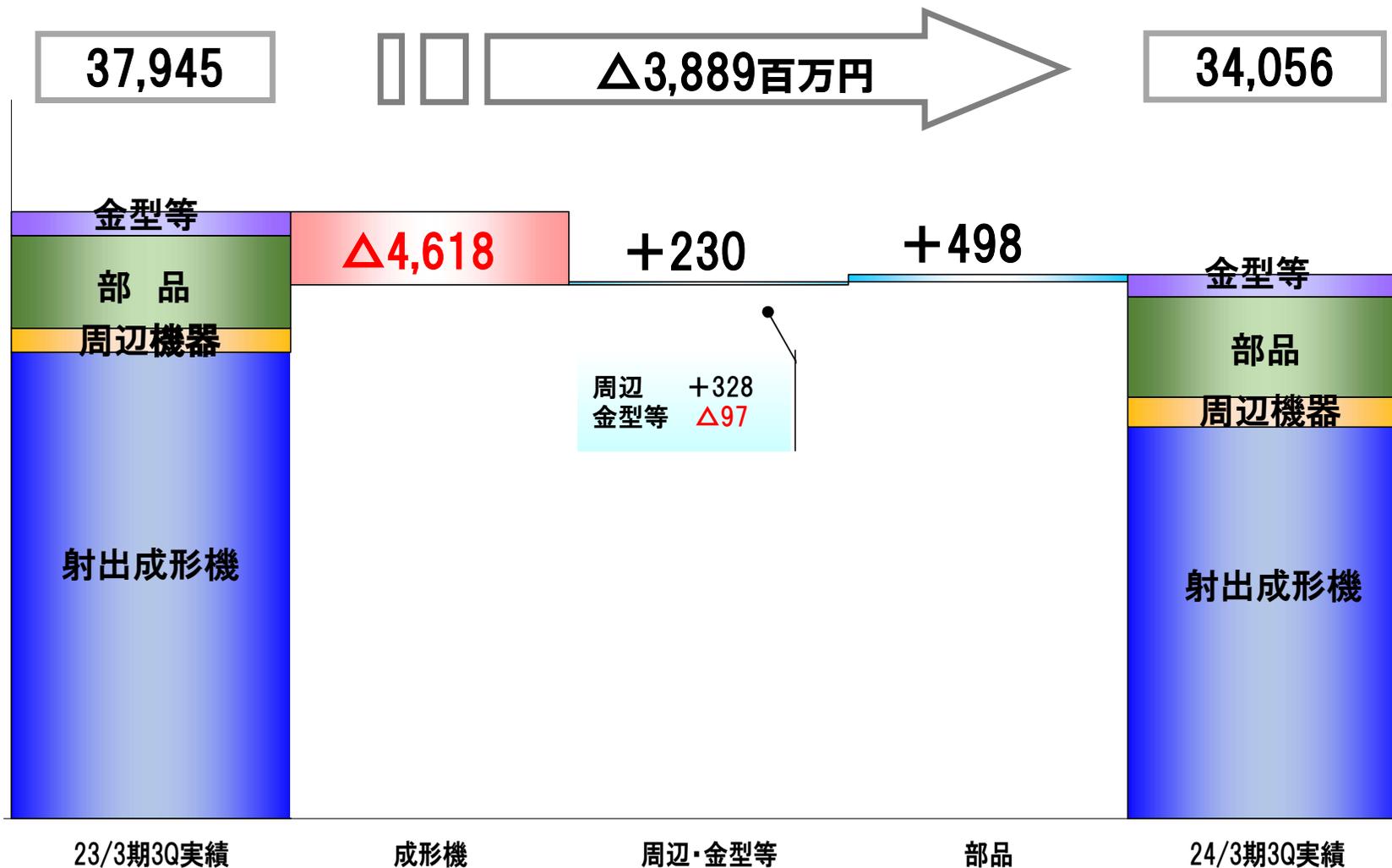
出所: 日本プラスチック機械工業会 統計

連結売上高(セグメント別)増減 [2023/3期3Q⇒2024/3期3Q]

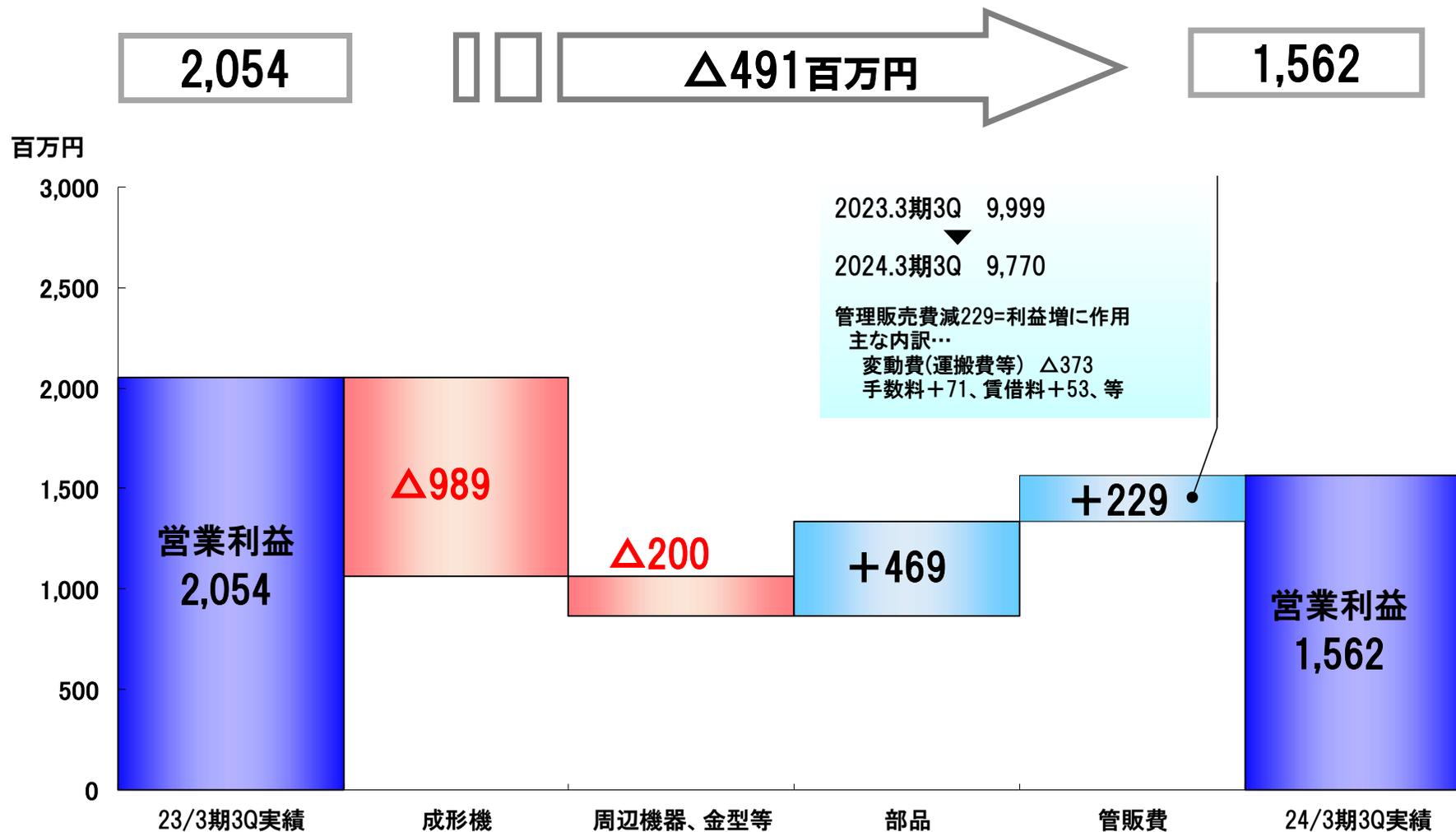
外部顧客への売上高の増減



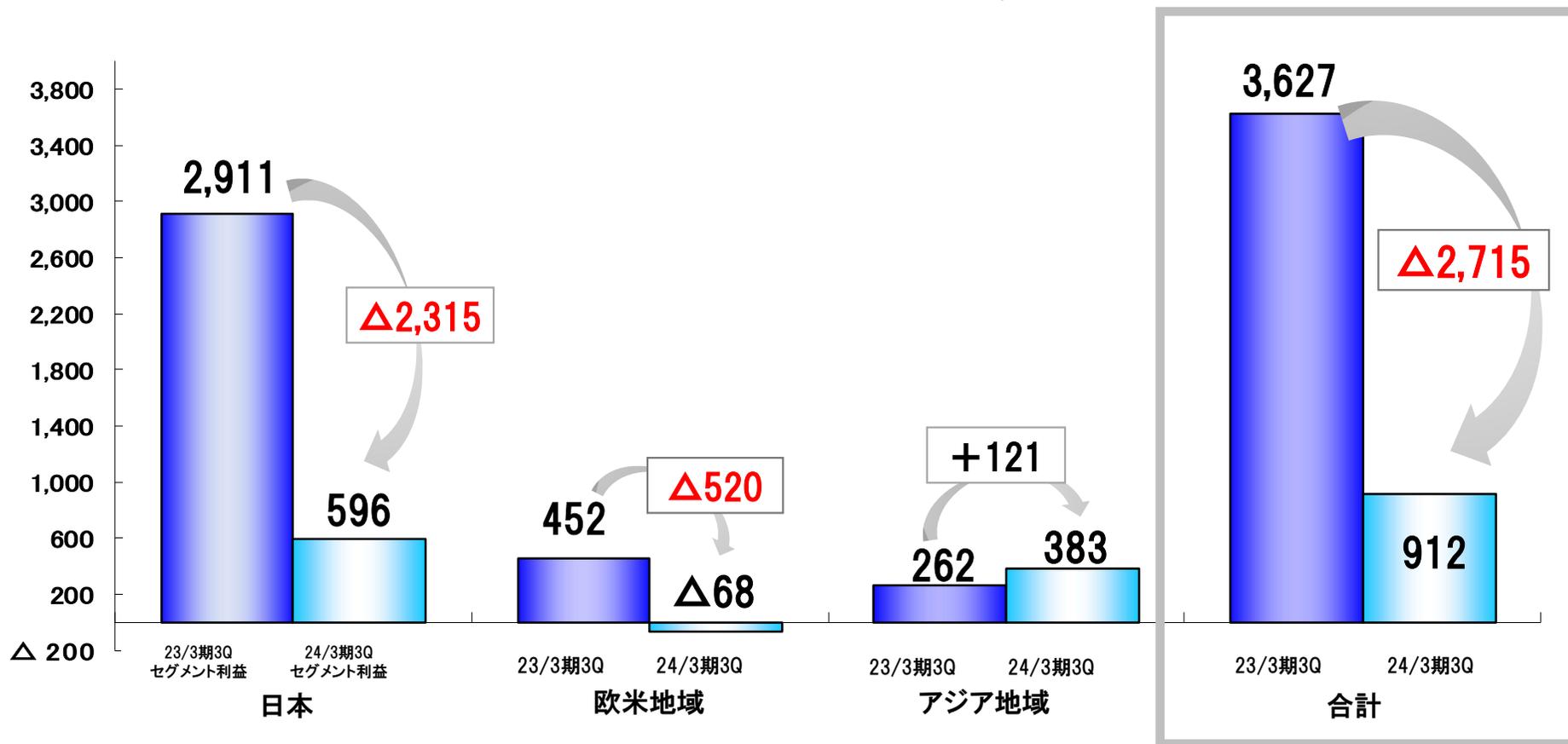
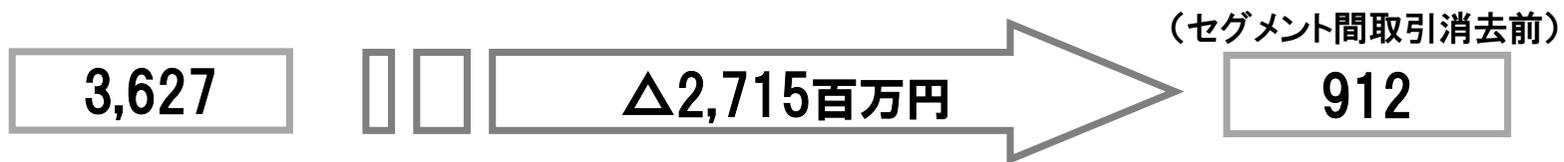
連結売上高(製品別)増減 [2023/3期3Q⇒2024/3期3Q]



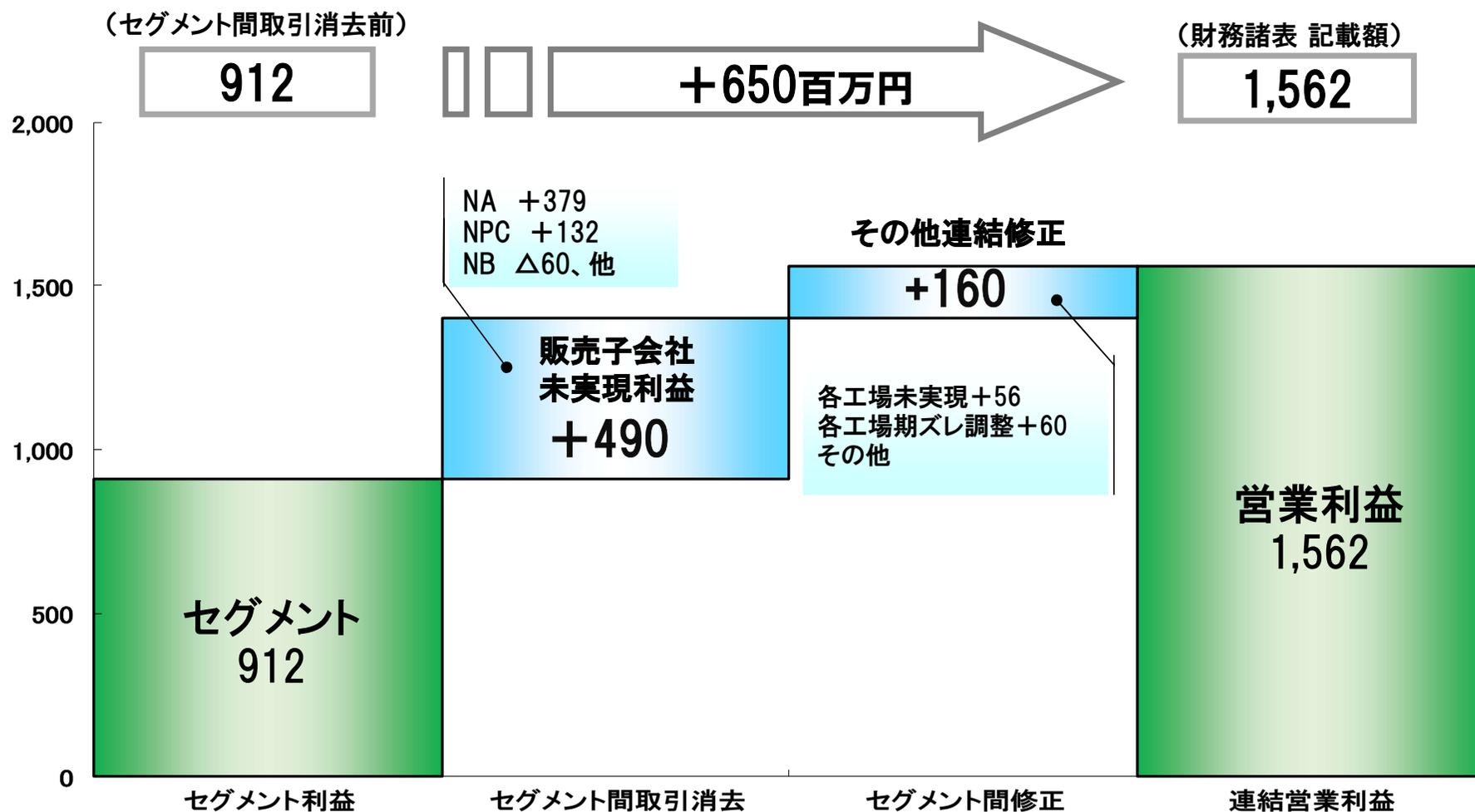
連結営業利益(製品別)増減 [2023/3期3Q⇒2024/3期3Q]



連結営業利益(セグメント別)増減 [2023/3期3Q⇒2024/3期3Q]

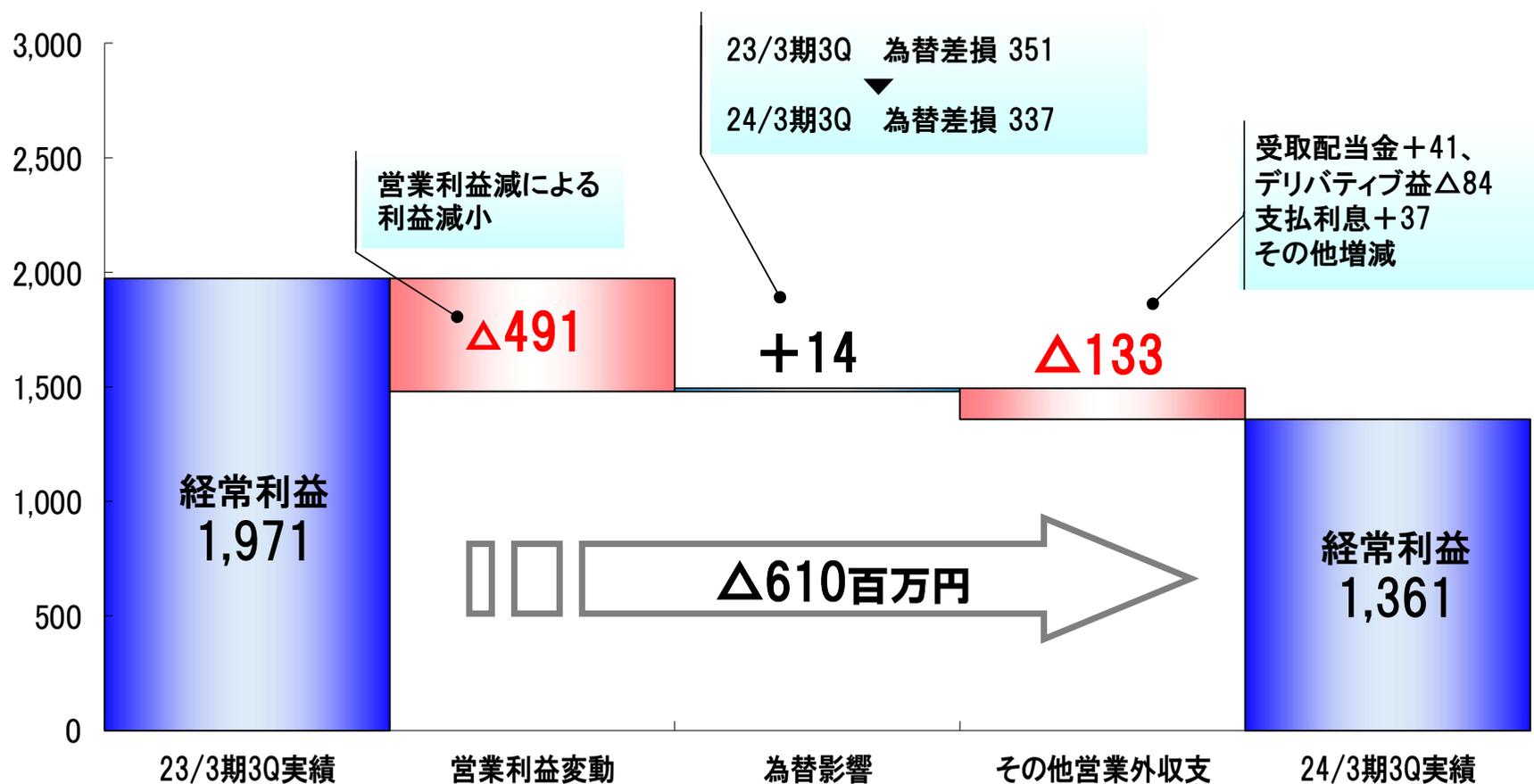


連結営業利益 ～セグメント間取引消去

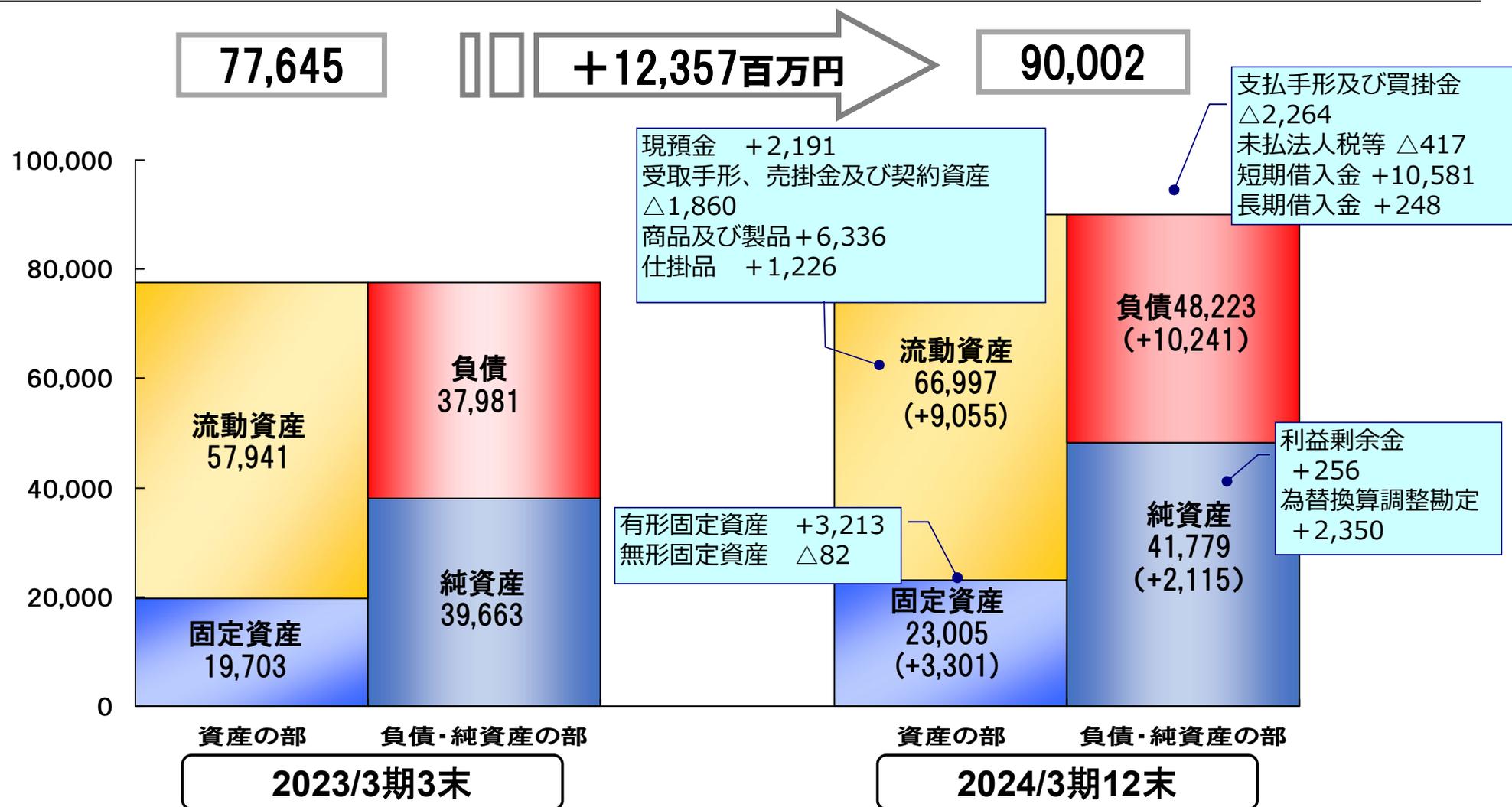


連結経常利益の増減 [2023/3期3Q⇒2024/3期3Q]

\$円レート: 期初 ¥133.53 ⇒ 12/末 ¥141.83
 元円レート: 1/初 ¥ ⇒ 19.01 9/末 ¥20.46



連結貸借対照表の増減 [2023/3期3末⇒2024/3期12末]

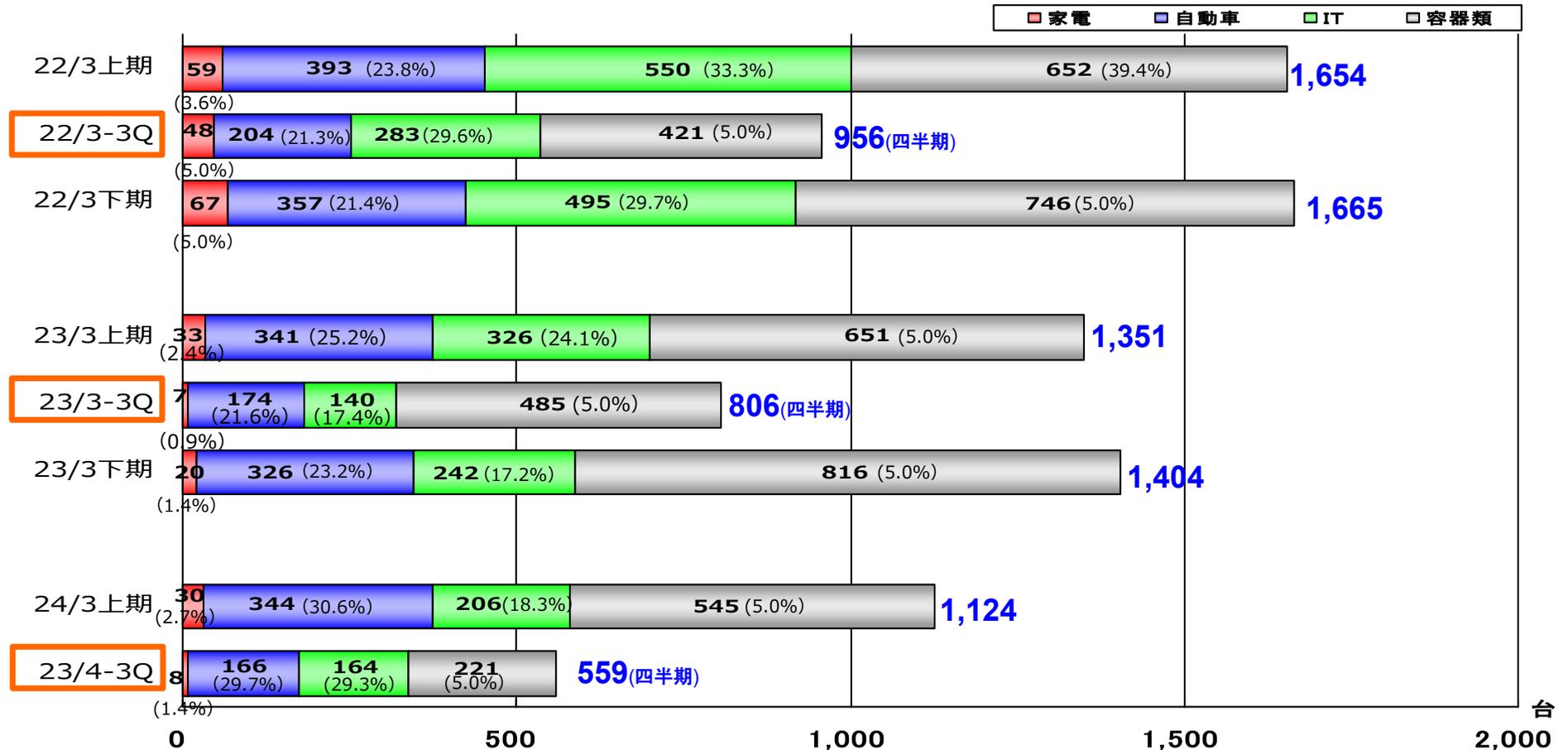


射出成形機の需要先別出荷台数推移 (当社)

2024/3期3Q

- 自動車…国内・海外横ばい
- IT…東アジア中心に停滞
- 医療機器…国内・海外ともに減少

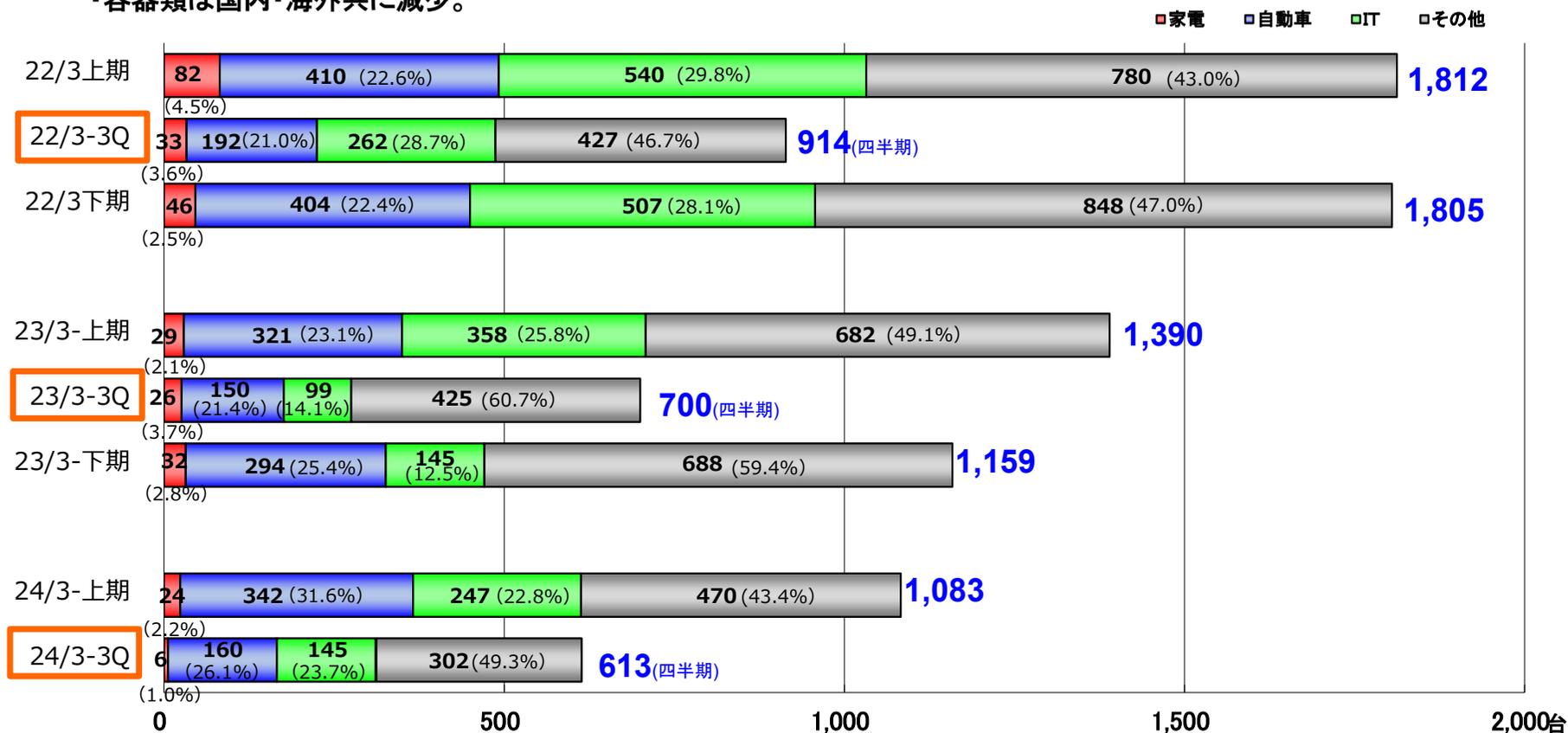
自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。



射出成形機の受注推移

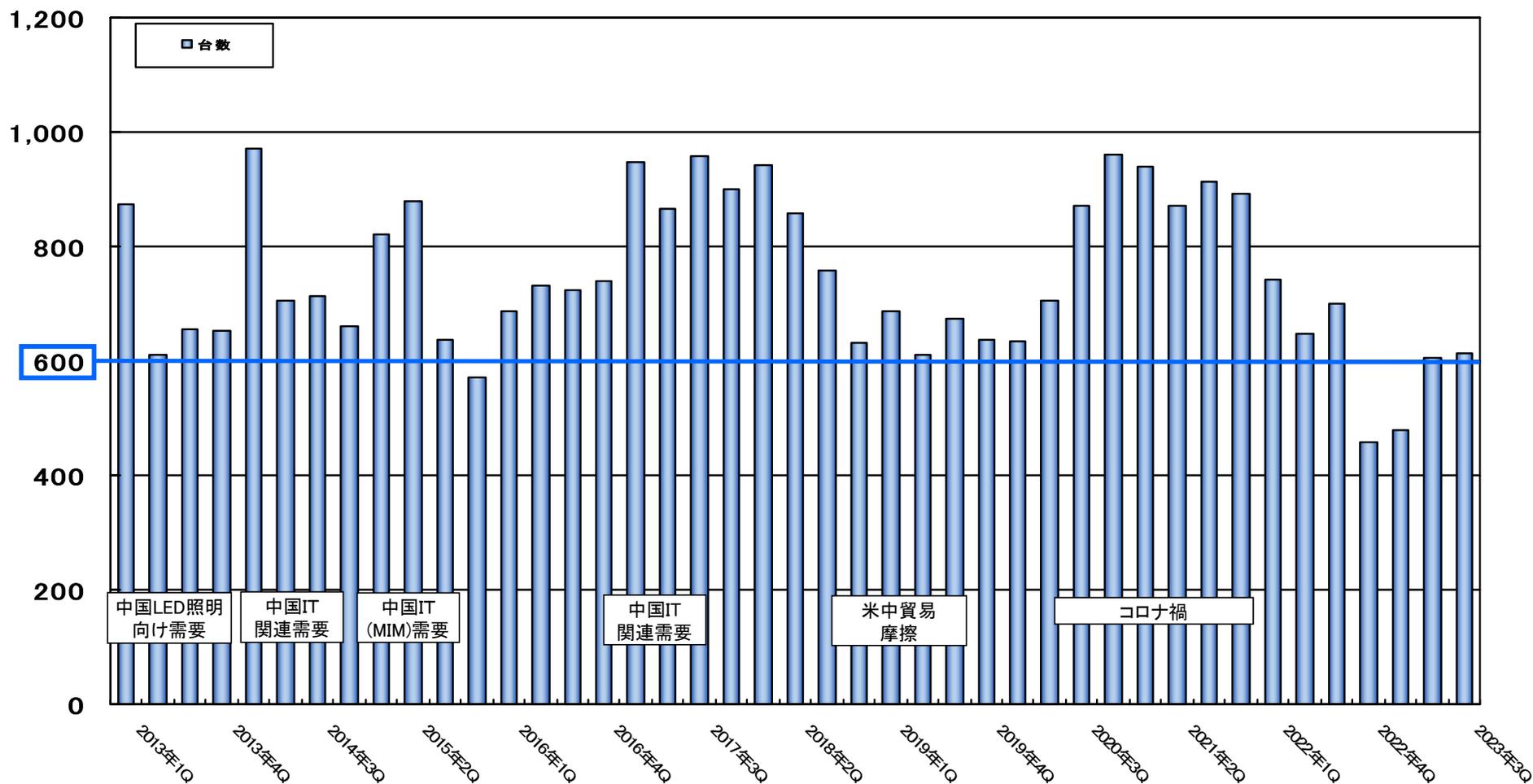
射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

- ・24/3期3Qの受注台数は1,696台。前年同期比18.9%減。
- ・自動車は国内回復基調、海外横ばい。
- ・IT関連は停滞していたが、東アジア向けを中心に回復基調。
- ・容器類は国内・海外共に減少。



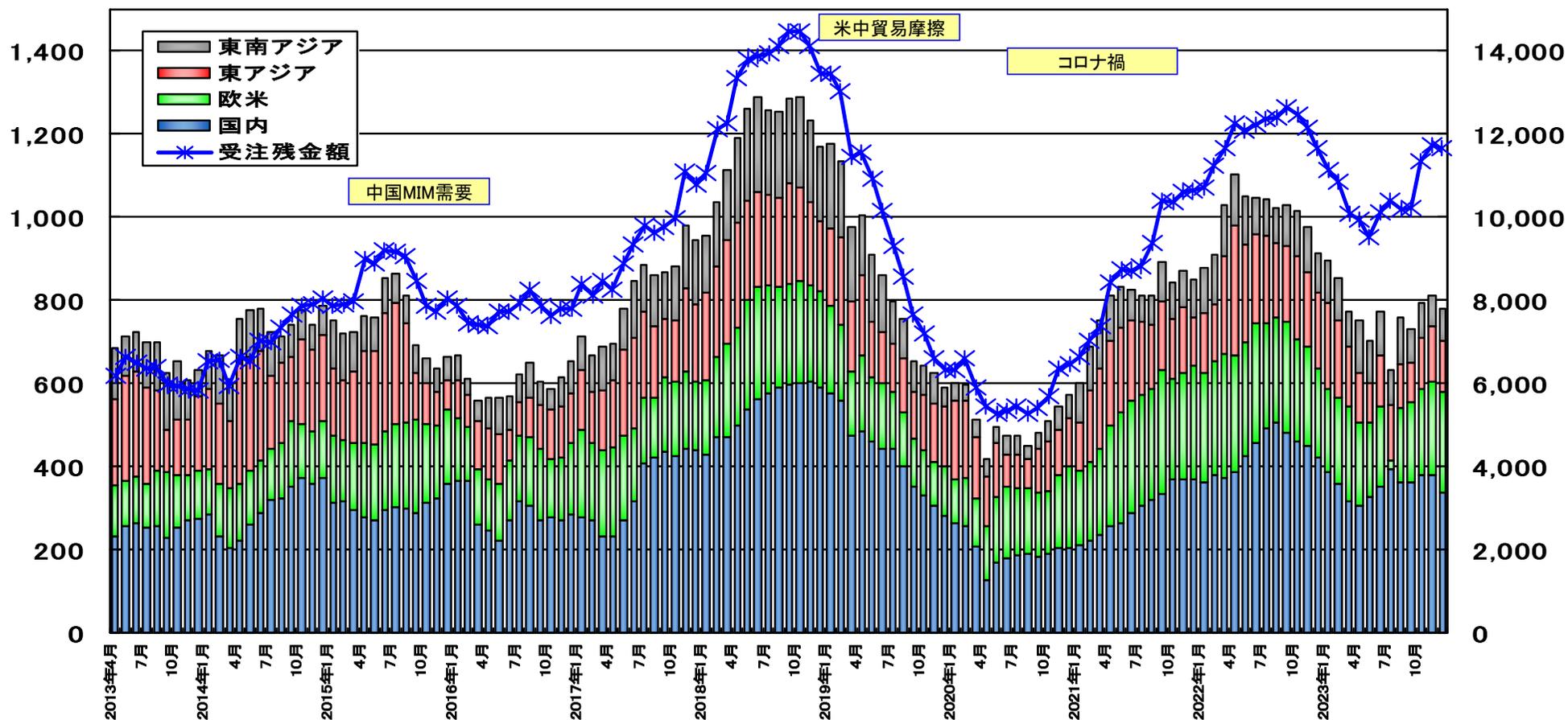
射出成形機の四半期別受注台数推移(当社)

欧米の利上げやエネルギー価格の上昇、中国の景気減速が不透明感に繋がっていることもあり需要に大きくブレーキがかかっている状態から、2023年5月を底に回復基調に。足元3Qは月度受注200台前後の水準に。



射出成形機の地域別受注残台数推移(当社)

国内外で自動車関連を中心に積みあがった受注残が徐々に出荷されてきたことで台数、金額とも漸減していたが、2023年5月を底に回復基調に転じている。足元3Qは、台数は大きく変わらないものの、単価が大きい大型機が増加したことで受注金額が増加している。

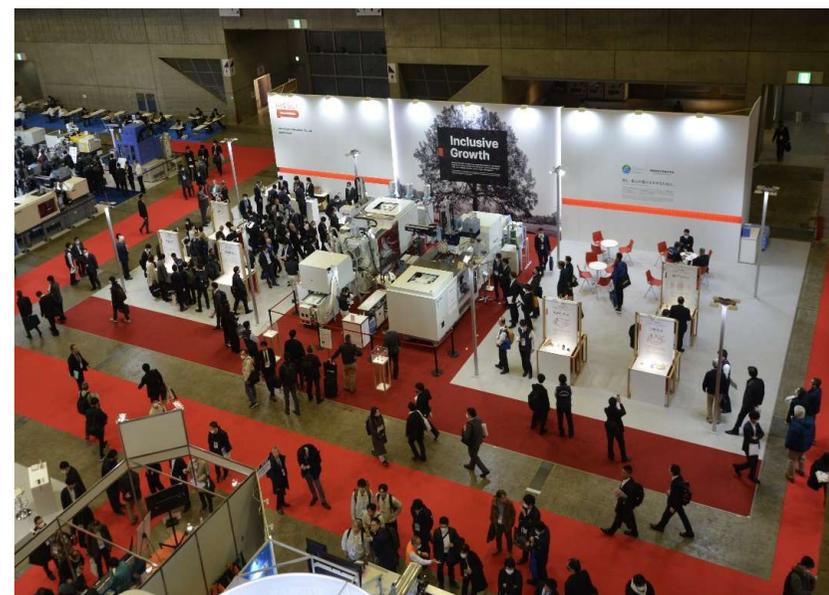
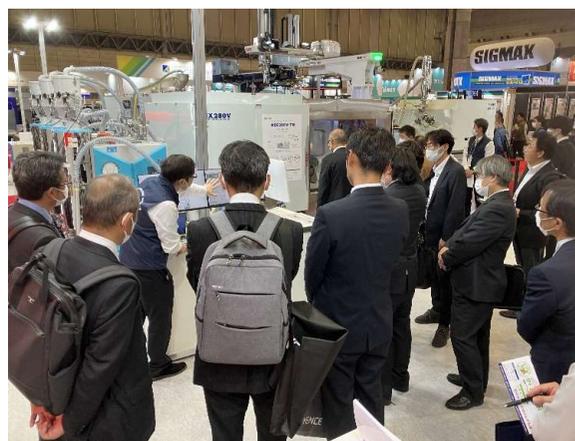


トピックス

IPF JAPAN 2023 国際プラスチックフェアに出展



「Inclusive Growth(包括的成長)ー プラスチックの新しい価値を創造する」
プラスチックと共に賢く生きる“プラスチック・スマート”を実践するため、
植物由来生分解性樹脂や石油代替素材の普及に向けた取り組みを、
「バイオプラスチック」と「アップサイクル」を共創キーワードとして展示、実演を行いました。



今年は6年ぶりの対面での開催となり、約4,000人のお客様に
ご来場いただき、好評を博しました。

▲会場の様子

2023.11.28-12.2

PLASTIVISION 2023 に出展 in ムンバイ

今回、初インド生産機となる電気式成形機 NEX180ⅢB-36E を出展し、急速に発展しているインド市場に対し、当社の存在とポリシーを強くアピールしました。来場者からは競合メーカーが実現出来ていない、インドでの電気式成形機の生産開始について驚きの声が多数あり、これからの展開に大きな期待の声が数多く寄せられました。



▲NEX180ⅢB-36E (1765kN)

2023.12.7-.12.11

今後のスケジュール

➤ NISSEI RED EXHIBITION in 九州

〈会期〉 2024年3月13日(水)～15日(金) 3日間

〈会場〉 西日本総合展示場 新館 (福岡県北九州市)

メインテーマ

「Inclusive Growth- プラスチックの新しい価値を創造する」

KEY POINTS

- ・自動車向けソリューション技術 (高付加価値提案)
- ・EV化・車両軽量化にむけた金属代替・樹脂化提案
- ・各種高機能材料による用途提案



△ 2023年8月 東海プライベートフェア

2024年 出展予定の展示会

➤ CHINAPLAS2024

〈会期〉 2024年4月23日(火)～26日(金) 4日間

〈開催地〉 上海 (中国)

KEY POINTS

- ・Made in China, Made by NISSEI 最新型中国工場生産機のご紹介
- ・NISSEI デファクトスタンダード MIM成形の実演



➤ NPE 2024

〈会期〉 2024年5月6日(月)～10日(金) 5日間

〈開催地〉 フロリダ オーランド (米国)

KEY POINTS

- ・次世代モビリティ向けソリューション技術 (高付加価値提案)
- ・メディカルおよびパッケージ向け高付加価値成形
- ・環境負荷低減に向けたバイオプラスチック、廃プラ活用の提案



『職場いきいきアドバンスカンパニー』 アドバンスプラス認証を更新

長野県が定める「職場いきいきアドバンスカンパニー」において、当社は下記のすべてのコースの条件を満たし、上位認証である「アドバンスプラス」の認証を更新いたしました。



ワークライフバランス
多様なライフスタイルに合わせた働き方ができる企業を認証



ダイバーシティ
多様な人材を生かし、イノベーションを生み出している企業を認証



ネクストジェネレーション
若者や氷河期世代の育成に積極的に取り組む企業を認証



アドバンスプラス
3コース全て認証となった場合の上位資格



2023.10.1

2024年3月期計画について

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化
2. グローバル市場への積極的展開による
営業強化
3. グローバル生産体制の強化
4. グローバルリスク管理体制の強化

2024年3月期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	2023/3期	2024/3期		対通期計画 進捗率%
	実績	3Q実績	通期計画 (2023.5.12開示)	
売上高	52,205	34,056	46,000	74.0%
営業利益	2,682	1,562	1,200	130.2%
(利益率)	5.1	4.6	2.6	—
経常利益	2,427	1,361	1,300	104.7%
(利益率)	4.7	4.0	2.8	—
当期純利益	1,835	837	900	93.0%
(利益率)	3.5	2.5	2.0	—

連結設備投資・研究開発計画と3Q実績

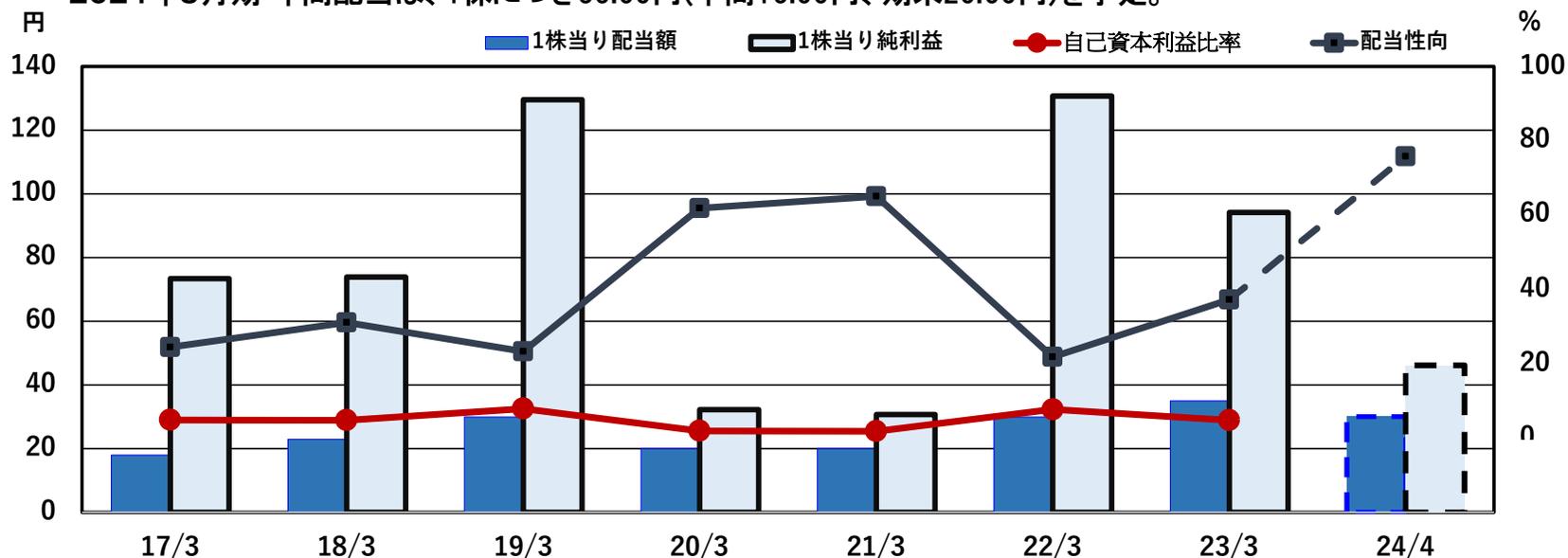
百万円

	2024年3月期 3Q実績	
主な設備等	IFSシステム改造他、ソフトウェア(製造部門)	6
	第7・8工場、止水対策工事	64
	ホーニング盤増設 (建設仮勘定)	20
	第4・7工場天井照明LED化	31
	米国工場増築工事費用 (建設仮勘定)	803
	海塩工場建設費用 (建設仮勘定)	1,045
	NPC車両運搬具	7
	プレジジョンセンター(海塩工場設置向け) (建設仮勘定)	663
	ホンマ設置、五面加工機レトロフィット工事 (建設仮勘定)	149
	その他、維持投資等	355
設備投資総額	3,143	
本社出資	中国第2工場(海塩工場)出資	1,500
減価償却費		1,114
研究開発費		368

配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・ 2024年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(中間15.00円、期末20.00円)を予定。



	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期 (予想)
1株当り純利益	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	94.13円	46.15円(予)
1株当り配当額	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円	35.00円(予)
中間配当	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円	15.00円
期末配当	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円	20.00円(予)
配当性向	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	37.2%	75.8%(予)
自己資本利益率	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	4.8%	—



日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
